

2022 年度 秋 semester

Diversity and Inclusion Teaching Assistants(DITA)の募集について

CIL（インクルーシブ・リーダーシップセンター）は、APU がインクルーシブ・リーダーシップの研究・育成・実施拠点としてのグローバルブランドを確立することを目指し、研究・教育・実践分野におけるインクルーシブ・リーダーシップの普及、促進に向けた取り組みを行っています。

その一環として、インクルーシブ・ティーチングを講義で実践・促進する教員の手助けし、学生のインクルーシブ・リーダーシップマインドの育成を支援するため、TA の機会を提供する新しいサポート制度として Diversity and Inclusion Teaching Assistants (DITA) を 2022 年度秋 semester も継続することとし、配置を希望する講義を募集します。

※インクルーシブ・ティーチングとは、すべての学生が歓迎され、評価されていると感じる学習環境を作ることを目的とする教育学を指します。

1. 目的

- (1) インクルーシブ・ティーチングを促進する
- (2) APU のインクルーシブ・ティーチングな教育のための効果的な戦略を特定する
- (3) APU のインクルーシブな気風を調査する
- (4) インクルーシブ・リーダーシップのある APU 学生の育成

なお、この制度を通じて得た知見は、ディスカッション・ペーパーの作成やインクルーシブ・リーダーシップのリアルン作成に活用し、学内へ還元します。

2. 概要

名 称 : Diversity and Inclusion Teaching Assistants (DITA)

導入期間 : 2022 年度秋 semester

対 象 : インクルーシブ・ティーチングを導入・実践したい教員およびその講義

※クラスの規模についての指定は特になし。

配置人数 : 20 名程度

※1 クラスあたりに 1 名（アカデミック・オフィスより講義 TA が配置されるクラスにも配置可）

学生資格 : 学部生・院生どちらも可

時間上限 : DITA1 名あたり 50 時間（semester）

想定する業務 :

- (1) インクルーシブ・ティーチング実践のための教員サポート
（例 : グループワークの補助、メンタリング、ファシリテーション、学生の質問対応など）
- (2) 指定するトレーニングへの出席

※講義 TA に定められている禁止事項は、DITA も同様に禁止とします。

- (3) 担当講義終了後、CIL より送られてくる無記名アンケートへの回答

※教員は 2 つ以上の講義に申請することも可能ですが、15 名以上の申請があった場合には、教員 1 人につき DITA の配置は 1 講義とさせていただきます。

※講義 TA 配置のない講義、学生の意思確認を既に完了している講義を優先します。また、基準言語、学部、授業の種類（言語、リベラルアーツ、専門科目）、人数規模のバランスを考慮し可否を決定します。

3. 補助決定後の申請者への義務

- (1)効果測定のため、申請時に入力したサーベイについて、DITA を導入して得た経験を踏まえ、講義終了後に再度回答すること。
- (2)DITA を活用し、講義においてインクルーシブ・ティーチングを積極的に実践・推進すること。
- (3)DITA の学生を監督すること。
- (4)インクルーシブ・ティーチングに関する研修資料の動画（講師：ミネソタ大学 Mary Jetter 氏）を授業開始までに視聴すること。過年度に視聴済みの場合は不要。
- (5)講義終了後に CIL が実施する学生へのアンケート調査に協力すること。

4. 申請方法

- ①インクルーシブ・ティーチングをより円滑に進めるため、配置する学生は、教員が申請時に指定した学生としますので、自身で配置を希望する学生を選定し、本人への意思確認を行ってください。
- ②下記サーベイに必要事項を入力し申請ください。

<https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/341996?lang=en>

※1 回の申請につき 1 講義の申請としてください。

2 講義以上の申請を行う場合は、お手数ですが都度入力をお願いします。

申請期日：**2022年9月25日（日）**

※締切後も定員に空きがあれば随時受け付けを行います。申請期日までの申込で定員に到達した場合には受付できませんのでご了承ください。

申請時に入力を求める事項：

- (1)申請者の所属・氏名
- (2)DITA 導入を希望する講義名、開講時期（第 1 クォーター等）、開講曜日、時限、言語（日・英）
（講義が複数ある場合は、講義名を全て入力してください）
- (3)指定する学生の所属・氏名・APU メールアドレス・学籍番号・本人の承諾確認
- (4)下記の問いへの回答
 - ①インクルーシブ・ティーチングとはあなたにとってどのような意味ですか、またそうではないものとは何ですか？
 - ②すべての学生が歓迎されていると感じ、快適に授業に参加できるように、教室でどのようにポジティブな環境を作りますか？
 - ③授業の学習目標や期待することを学生に理解してもらうにはどうしたらよいでしょうか？
 - ④あなたの授業では、多様な考え方や視点をどのように取り入れますか？
 - ⑤あなたの授業では、学生が授業の資料を用いて学習し、学びを実践するにはどのような様々な方法がありますか？
 - ⑥グループワーク（あれば）をクラスでよりインクルーシブに行うにはどうしたらいいですか？

結果通知：メールにて個別通知

5. FAQ

申請後、すぐに DITA として働けますか？

→審査がありますので、審査後採否をお知らせします。学生によっては、採択後にアルバイト登録手続き等が必要になりますので、働けるまで時間がかかる場合があります。

DITA 経験のある学生のリスト公開や学生紹介はできますか？

→できません。ご自身が inclusive teaching を進めるにあたって効果的だと思う学生を見つけて来ていただくことにしているため、CIL から紹介することはできません。

同じ学生を同じ講義で、DITA と講義 TA の両方で採用することは可能ですか？

→いいえ。同じ講義で同じ学生を DITA と講義 TA の両方で採用することはできません。

(ただし、同じ講義に別の学生を DITA と講義 TA としてそれぞれ採用することは可能です。)

同じ講義に DITA を 2 人入れることは可能ですか？

→いいえ。

6. お問い合わせ

インクルーシブ・リーダーシップセンター(CIL)事務局

centers@apu.ac.jp

